

私の「こまった」をみんなの「なんとかしたい」とつなげる場。

平成29年度第1回 課題共有ワークショップ

◇「課題共有ワークショップ」とは？

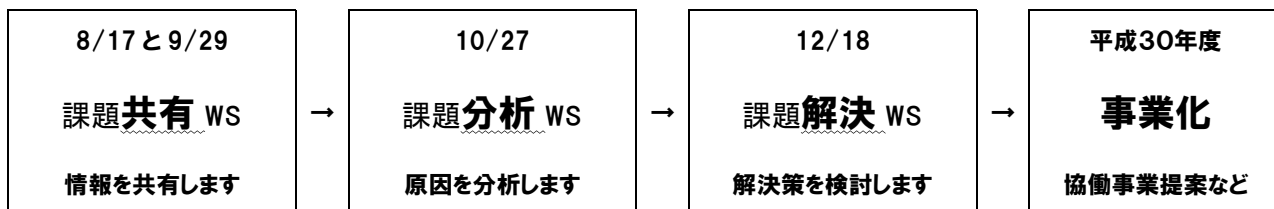
課題共有ワークショップは様々なテーマ(社会課題)に対して同じ問題意識を持った方々が集まり、それぞれの知識や経験を交換しあいながら、理解を深める機会です。以下のテーマに共感できるという個人または組織(営利・非営利問わず)の皆様のご参加をお待ちしています。

◇第1回課題共有ワークショップのテーマ (詳細は裏面をご参照ください)

分類	テーマ	ご提案者
A	岡山市中心部とその他の地域を結ぶ面的観光コンテンツの創出	WH JAPAN株式会社
B	「農」の持つ多面性を活用した持続可能な農業と農村づくり	みた農園
C	生活困窮者等の居住の安定確保支援	岡山市生活保護・自立支援課

◇「課題共有ワークショップ(ws)」以降の展開

課題共有ワークショップで問題意識を共有した後、「背景・原因の分析」と「解決策の検討」のためのワークショップを実施します。多様な主体間で目的共有や役割分担がなされた事業については、平成30年度以降の「市民協働推進モデル事業」などへつなげることも可能です。



自分事として
考える！

自分の「できる！」
を持ち寄る

「協働」で
解決する

参加者
募集！

平成29年8月17日(木)13:30~16:00

岡山市勤労者福祉センター4階「大会議室」(岡山市北区春日町5-6)

参加費:無料

主催:岡山市/ESD・市民協働推進センター

◇テーマの詳細について

「WH JAPAN株式会社」さんからのテーマ提案		
A	岡山市中心部とその他の地域を結ぶ 面的観光コンテンツの創出	近年、「国際競争力のある面的観光」に注目が集まっています。岡山市の「後楽園」「岡山城」「旭川」などの観光資源を市内外の歴史的・文化的資源と結ぶことで、周遊性とストーリーを備えた魅力的な観光コンテンツが生まれるかもしれません。観光振興、歴史資産の保全などに取り組まれている皆様や岡山の魅力を発信したいと考えている皆様のご参加をお待ちしています！
「みた農園」さんからのテーマ提案		
B	「農」の持つ多面性を活用した 持続可能な農業と農村づくり	担い手の減少と高齢化、耕作放棄地の増加、食料自給率の低下など、農業を取り巻く課題は複雑化・深刻化を増しています。一方で「癒し」、「学び」、「環境保全」など、農業・農村が持つ「多面的機能」が見なおされ、農業の持続可能性の向上への期待が高まっています。農業の未来に危機感(または新しい希望)を感じている皆様、ぜひご参加ください！
「岡山市生活保護・自立支援課」さんからのテーマ提案		
C	生活困窮者等の居住の安定確保支援	生活困窮者支援を行う中で、「住まい」に関する困りごとを抱えた人が想定以上に多いと感じています。しかしながら、賃貸住宅の入居・居住に関して、家賃負担だけでなく、連帯保証、緊急連絡先の確保等がネックとなり借りることができないという問題も少なくありません。生活の基盤である「住まい」確保のための課題解決、支援についていっしょに考えてみませんか？

◇お申し込みについて 申込締切 8月10日(木)

以下の①～⑤をTEL、E-mail、FAXのいずれかの方法でESD・市民協働推進センターまでお知らせください。

ESD・市民協働推進センター (高平、斉藤、戸田)		◇TEL:086-803-1062 ◇FAX:086-803-1872 (岡山市市民協働企画総務課) ◇E-mail: esd-smc@googlegroups.com		
①お名前				
②ご所属またはご職業				
③連絡先TEL				
④連絡先E-mail				
⑤参加希望テーマ(ひとつに☑)	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	